

# 堺市こころの健康センター所報

第 13 号

(平成30年度実績)

堺市こころの健康センター

## はじめに

平成 30 年は、6 月に大阪北部地震、7 月に西日本豪雨災害、9 月に台風 21 号・24 号、北海道胆振東部地震など、災害が立て続いて起こりました。多数の死傷者が出ましたことは、誠に残念なことで、被害者ならびに関係者の皆様に心からお悔やみ申し上げます。

災害は様々な形で喪失体験をもたらし、急性期から長期にわたってこころの健康に影響を及ぼします。DPAT やこころのケアチーム、行政職員として、期待に応えられるように研修や訓練を計画的に進めていく必要について再認識しました。このような中、近畿圏の精神保健福祉センター・自治体の連携についてお声掛けをいただきました。有事に備えて、経験と交流を重ね顔の見える支援関係の構築を図りたいと考えています。

さて、内閣府はひきこもりの実態調査結果を平成 31 年 3 月に公表し、満 40 歳から満 64 歳のひきこもり状態にある者は 61 万 3 千人と推計しています。平成 27 年に公表された満 15 歳から満 39 歳のひきこもり状態にある者は推計 54 万 1 千人であり、40 歳以上の者の方が多いことがわかりました。当センターの平成 18 年度のひきこもり相談新規受理者の平均年齢が 25.4 歳であったのに対して、平成 30 年度のそれは 33.4 歳と 8 歳も上昇していました。このように、ひきこもり者の高齢化・ひきこもり期間の長期化は、当センターでも目に見える形であらわれています。

また、平成 30 年 4 月から堺市こころの健康センターではギャンブル等依存症相談を開始しました。初年度の新規の相談実数は 34 名と多く、単回相談並びに継続相談（個人または家族）の件数は 388 件でありました。現時点でギャンブル等依存症問題のほとんどはパチンコ・スロットに関与したものであることが、相談内容から明らかとなりました。これまで、借金額が大きくなればギャンブル等依存症の問題があったとしても、本人だけではなく家族も依存症の問題として認識しにくい状況があったと考えられます。裏を返せば、当センターにギャンブル等依存症相談で来所するという事は、大きな金額の借金を抱え、生活に支障を来していることを意味します。

平成 31 年 4 月にギャンブル等依存症対策推進基本計画が閣議決定され、官民が連携し包括的に依存症対策に取り組むよう示されました。ギャンブル等依存症の問題を抱える本人または家族が、より早期に問題に気づき、相談につながるができるように、一層の周知を続けていきたいと思えます。

最後に、先日、WHO の総会でゲーム障害が疾患として ICD-11 に収載されることが決定しました。まだ馴染みのない疾患ですが、精神保健福祉センターは第一線の相談機関として対応が求められることが予想されます。期待される役割に応えられるよう、努めてまいりますので、今後も、皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年 6 月

堺市こころの健康センター  
所 長 井 川 大 輔

# 目 次

はじめに	1
I 沿革	3
II 堺市こころの健康センターの概要	
1 施設	6
2 組織と職員数	8
III 事業概要と業務実績	
1 専門相談・診療事業	9
2 教育研修事業	18
3 普及啓発事業	23
4 技術支援事業	26
5 組織育成事業	29
6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び 精神障害者保健福祉手帳の判定	30
7 調査研究事業	32

## 【略語注釈】

Dr＝医師、CP＝臨床心理技術者、PHN＝保健師、PSW＝精神保健福祉士、  
OT＝作業療法士

# I 沿革

## 平成16年度

2月 美原町の合併 美原保健センター開設（精神保健福祉相談員1名を配置）

## 平成17年度

4月 健康部健康増進課内に、精神保健福祉業務政令指定都市移行準備担当（事務職主査1名）を配置  
大阪府こころの健康総合センターへ精神保健福祉士1名、大阪府精神保健福祉課へ事務職1名を研修派遣（4月～12月）  
庁内に「精神保健福祉業務政令指定都市準備検討会」を設置（月2回開催、12月末まで）

7月 健康部に、副理事（精神科医師）1名を配置

10月 健康部健康増進課に、心理職員2名を配置

第1回堺市精神保健福祉業務政令指定都市準備意見交換会（外部委員21名）

12月 第2回堺市精神保健福祉業務政令指定都市準備意見交換会（外部委員21名）

堺市こころの健康センター条例（条例第67号）及び堺市精神医療審査会条例（条例68号）の議決

2月 こころの健康センター開設準備担当に、精神保健指定医1名、精神保健福祉士2名、心理職2名を任命

3月 こころの健康センター改修工事（北支所5階）

## 平成18年度

4月 政令指定都市へ移行

こころの健康センター開設（北区役所5階）【職員16名 電話相談員4名体制】

\*精神保健指定医2、保健師2、精神保健福祉士4（うち非常勤1）、心理3（うち非常勤1）、看護師1（うち非常勤1）、事務4（うち短期臨時職員2）

ひきこもり専門相談、高機能広汎性発達障害専門相談を開始

精神医療審査会 2合議体を設置 専用電話の設置

9月 高機能広汎性発達障害家族教室を開始

10月 ひきこもり専門グループワークを開始

## 平成19年度

6月 高機能広汎性発達障害専門グループワークを開始

7月 高機能広汎性発達障害家族教室を開始

\*発達障害者支援センター開設に伴い、3月末にて高機能広汎性発達障害専門相談、グループワーク、家族教室を終了

10月 ひきこもり家族教室を開始

## 平成20年度

4月 精神保健福祉士常勤1名を増員【職員17名体制】

10月 薬物依存症専門相談、自死遺族専門相談を開始

## 平成21年度

#### 平成22年度

8月 薬物依存症家族教室の開催

1月 子ども青少年部局がひきこもり地域支援センター（児童期）の堺市ユースサポートセンター（子ども・若者総合相談センター）を開設

#### 平成23年度

4月 保健師常勤1名、精神保健福祉士非常勤1名、心理非常勤1名を増員【職員20名体制】

5月 ひきこもり地域支援センター（成人期）を開設  
ひきこもり相談専用電話の設置

12月 第1回ひきこもり市民講演会の開催

#### 平成24年度

4月 健康福祉プラザの開設  
こころの健康センター 北区役所から健康福祉プラザ3階へ移転  
保健師常勤1名が減員【職員19名体制】

#### 平成25年度

4月 医師常勤1名の減員 代替として医師非常勤2名の配置  
看護師非常勤1名の代替に心理短期臨時職員1名を配置【職員18名体制】

7月 薬物依存症専門グループワークを開始

11月 ひきこもりサポーター養成講座（堺市ユース・ピアサポーター養成講座）の開催

1月 ひきこもりサポーター派遣事業の開始（ユース・ピアサポーター活動の開始）

#### 平成26年度

4月 精神保健福祉士非常勤1名の増員【職員19名体制】  
精神医療審査会 1合議体の増加（3合議体の体制）

#### 平成27年度

4月 医師常勤1名の増員（代替の医師非常勤2名 配置終了）  
保健師常勤1名の代替に、精神保健福祉士短期臨時職員1名の配置【職員20名体制】

11月 アルコール関連問題啓発週間 啓発パネル展示の開催

#### 平成28年度

4月 精神保健福祉士常勤1名、保健師再任用1名の増員  
事務職員1名の減員 代替に事務職短期臨時職員1名の配置【職員22名体制】  
「相談係」、「審査調整係」の係体制へ再編

6月 薬物依存症治療・回復プログラム（SDY 48）の開始

11月 アルコール関連問題啓発週間におけるパネル展示及び市民向け講演会の開催

3月 性暴力被害者へのカウンセリング事業の実施

平成29年度

- 4月 非常勤心理職1名を配置（保健師再任用1名 退職）  
精神保健福祉士1名の増員（事務職短期臨時職員1名 減員）【職員22名体制】
- 5月 ギャンブル等依存症の相談等実施に向けた準備開始
- 9月 専門外来診療の見直し、精神医療審査会予備委員の配置 検討

平成30年度

- 4月 精神保健福祉士1名の増員（主幹兼相談係長）【職員23名体制】  
保健師1名が精神保健課と兼務（調整担当）  
非常勤作業療法士1名の配置（非常勤看護師退職に伴う置き換え）  
ギャンブル等依存症の相談及び個別の回復支援プログラムの実施  
依存症相談拠点の選定うける  
精神医療審査会予備委員の配置（弁護士2名、有識者1名、医師1名）
- 6月 東海道新幹線車内で発生した殺傷事件に関わるこころのケア電話相談の実施  
大阪府北部を震源とする地震に関するこころのケア電話相談に実施
- 9月 ギャンブル等依存症 家族教室の実施

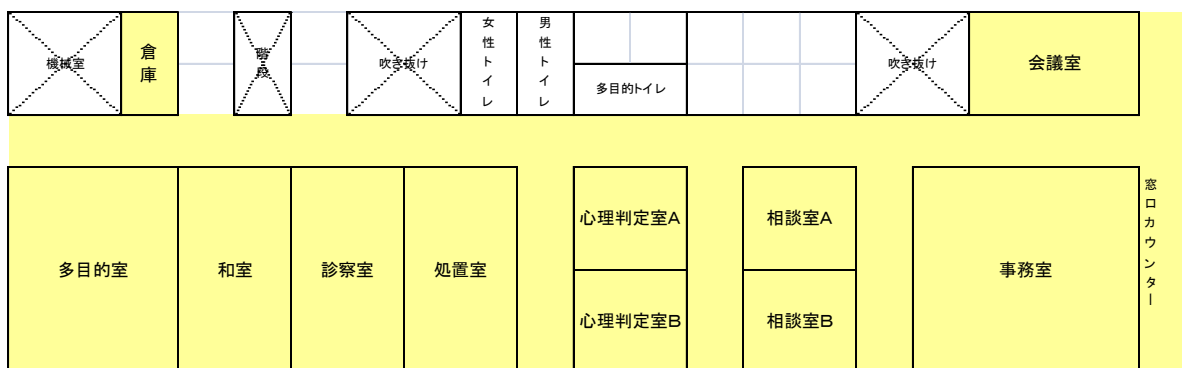
## Ⅱ 堺市こころの健康センターの概要

### 1 施設

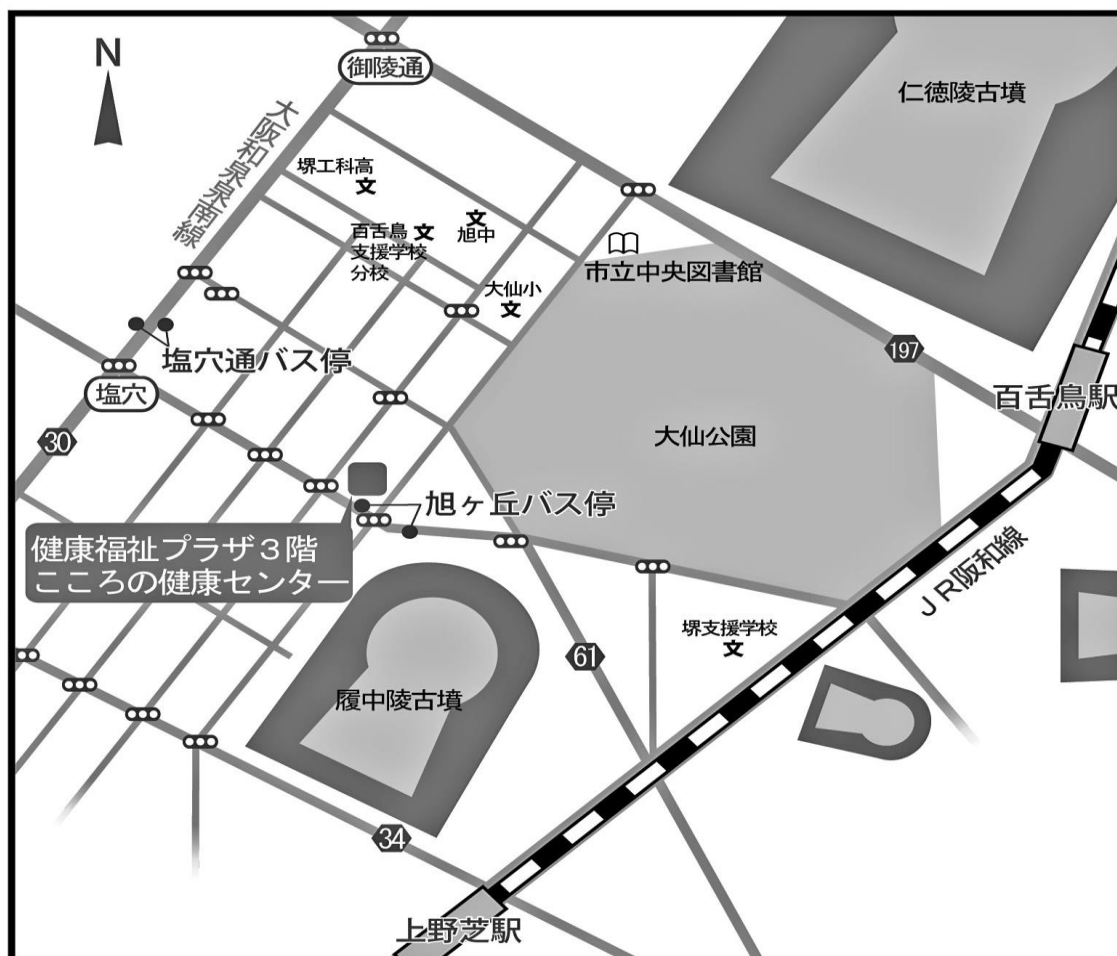
#### 1-1 外観



#### 1-2 平面図



### 1-3 所在地



〔住所〕 〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ3階

〔電話〕 072-245-9192 〔FAX〕 072-241-0005

072-243-5500 (こころの電話相談)

072-241-0880 (ひきこもり電話相談)

〔アクセス〕 JR 阪和線「百舌鳥」駅下車 西へ1.4km

JR 阪和線「上野芝」駅下車 北西へ1.3km

南海バス「堺東」駅より(泉ヶ丘駅行)乗車、「旭ヶ丘(健康福祉プラザ前)」バス停下車すぐ

南海バス(西区役所前行など)乗車「塩穴通」バス停下車 南東へ500m

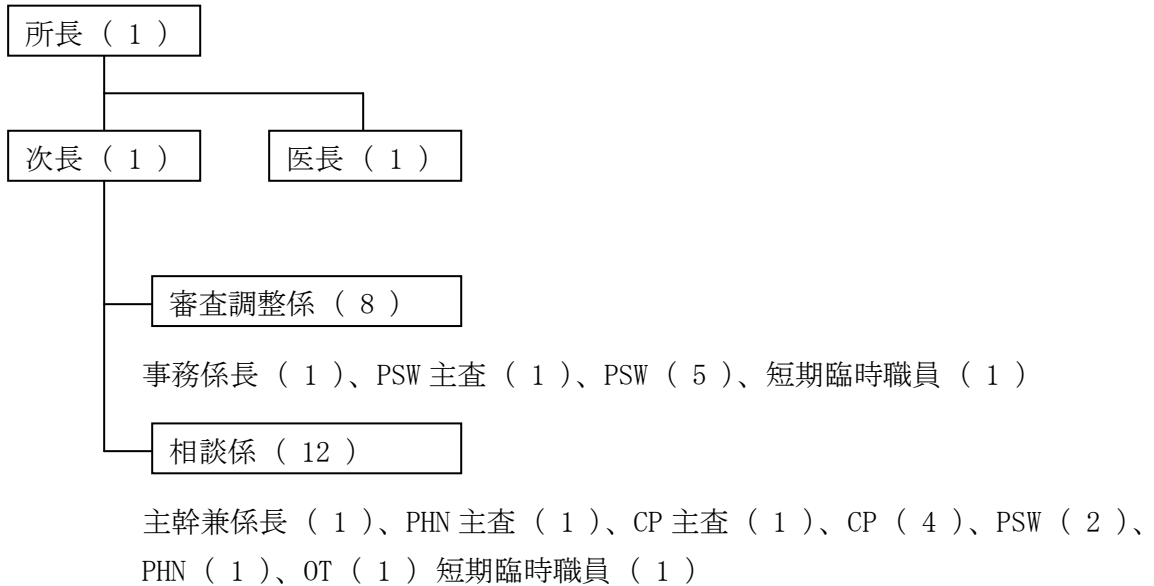
### 1-4 開設

開設年月日 平成18年4月1日



## 2 組織と職員数

### 2-1 組織（平成30年4月1日現在）



### 2-2 職種別職員数（平成30年4月1日現在） 合計23名

	Dr	PSW	CP	PHN	OT	事務職
所長	1					
次長		1				
医長	1					
審査調整係		6 内非常勤職員 2				2 内短期臨時職員 1
相談係		3 内非常勤職員 1	5 内非常勤職員 3	2	1 内非常勤職員 1	1 内短期臨時職員 1

電話相談員・・・13名（当番制）

### Ⅲ 事業概要と業務実績

#### 1 専門相談・診療事業

##### 1-1 専門相談の概要

精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び指導のうち、複雑又は困難な事例に対する相談業務を行った。(表 1-1)

(表 1-1) 専門相談 利用者数

内容	延べ件数	実数
ひきこもり	5229	491
薬物依存症	585	77
ギャンブル等依存症	388	79
自死遺族	93	21
性暴力被害	92	21
その他	285	156
合計	6672	845

##### 1-2 ひきこもり (ひきこもり地域支援センター)

平成 23 年度に当センター内に設置された「ひきこもり地域支援センター (成人期)」の活動として、市民に対する講演会や、ホームページ・リーフレット等を使った啓発を行った。また、「ひきこもり相談電話」を設置し、利便性を高め、より広く市民からの相談に応じた。各関係機関のネットワークを構築し、支援体制の整備を行った。

さらに、平成 26 年度からは、ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者に対して、「ユース・ピアサポーター養成講座」を実施し、登録したサポーターを各種ひきこもり支援に活用した。

##### 1) 相談支援及びグループワーク等

ひきこもり状態にある本人及びその家族や関係者に対して相談支援を行った。対象は、概ね 15 歳以上で、自宅以外での生活の場が失われている状態にあり、あきらかな精神疾患の存在が認められない本人及び家族・関係者とした。電話、来所面接、家庭訪問、所外相談 (同行等)、手紙、メール等の方法により実施した。(表 1-2-1)

また、ひきこもり相談を利用している家族を対象に、ひきこもりに関する学びの場とする家族教室と、家族同士の交流の場としての家族交流会を実施した。(表 1-2-2)

さらに、ひきこもり相談を利用している本人を対象とした各種グループワークを実施した。  
(表 1-2-3)

(表 1-2-1) ひきこもり相談 相談形態別 (延べ件数)

電話(※)	来所相談	家庭訪問	所外	手紙	メール	合計
1539	2782	220	172	42	474	5229

※内ひきこもり相談電話、98 件。

(表 1-2-2) ひきこもり家族教室・交流会 利用状況

内容		実施回数	利用者延数
家族教室 (コミュニケーション講座、医療講座)		7	67
家族交流会	家族が交流し、分かち合いの場	6	58
	クラフト、調理を通じて楽しみの共有	2	11
合計		15	136

(表 1-2-3) ひきこもり本人向けグループワーク 利用状況

内容		実施回数	利用者延数
定例 GW 職員企画 GW	スポーツ活動	17	192
	サーキットトレーニング	22	58
	ボランティア活動	6	27
	学びの講座	1	11
サポーター企画 GW	企画会議	62	208
ニーズ調査企画	サポーター企画 GW	16	136
	女性限定 GW	7	41
	その他 GW	26	157
合計		157	830

## 2) ユース・ピアサポーター活動

ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者が「ユース・ピアサポーター養成講座」を受講し、講座修了者に「ユース・ピアサポーター」として登録。各種ひきこもり支援事業の実施の際に、ユース・ピアサポーターとして活動している。

具体的にはひきこもり経験を生かした活動として、個別相談の補助、グループワークの企画、家族教室等での体験談の講師などである。

ユース・ピアサポーター登録者 31名

活動回数 延 401回

### 3) 教育研修、職員派遣

ひきこもり支援関係機関の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-2-4)

(表 1-2-4) ひきこもりに係る主な職員派遣等 実績

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
8/17	高齢者虐待防止研修	堺区高齢者関係者会議	PHN	81
10/4	ひきこもりの精神保健相談・支援の実践研修	全国精神保健福祉センター長会	Dr、CP	60
11/10	“8050 問題”を学ぶ 「ソーシャルワーカーが大切にすべきこと」	高齢支援関係機関	PSW	80
3/6	ひきこもり支援に関する研修	ケースワーカー 研究協議会	CP	37
合計		4回 258人		

### 4) 普及啓発

ひきこもりで悩む本人や家族が孤立し、問題が長期化・重症化しないよう、市民に対する講演会を開催した。(表 1-2-5)

(表 1-2-5) ひきこもりに係る普及啓発 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
7/8	ひきこもりの若者への理解 ～家族からのアプローチ～	和歌山県精神保健福祉センター 所長 小野 善郎	65
合計		1回 65人	

### 5) その他(技術支援、会議参加等)

関係機関とのネットワークを構築し、ひきこもり支援を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、ひきこもり地域支援センターの専門性を生かした技術支援等を行った。(表 1-2-6)

その他、関係団体からの視察や見学等の受け入れ等を行った。

(表 1-2-6) ひきこもりに係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
ひきこもり支援	ひきこもり地域支援センター 連絡会議（事例検討会）	ひきこもりに関する 事例検討会	2
ひきこもり支援	ひきこもり地域支援センター 全国連絡協議会	協議会への出席	2
子ども若者支援	子ども若者支援地域協議会 （子ども家庭課）	代表者会議への出席 実務者会議（イベント参 加を含む）	1 6
合計		11回	

### 1-3 薬物依存症

#### 1) 相談支援及びグループワーク等

覚せい剤、麻薬等の違法薬物や危険ドラッグ等の依存の問題で困っている本人及び家族等に対して相談支援を行った。個別の状況に応じた支援及び精神科医による相談（月 1 回程度）を実施した。（表 1-3-1）

また、薬物依存症で困っている家族を対象に、薬物問題の正しい理解とその対応について学ぶことを目的とした家族教室を実施した。（表 1-3-2）

さらに、薬物依存症相談の利用者を対象に、再発予防を目的としたグループワークを実施した。（表 1-3-3）

(表 1-3-1) 薬物依存症相談 主な相談対象薬物別（延べ件数）

覚せい剤	麻薬	大麻	有機溶剤	危険ドラッグ	処方薬	その他	合計
378	13	32	5	54	69	34	585

(表 1-3-2) 薬物依存症家族教室 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
家族心理教育プログラム	8	33
薬物依存症に悩む人たちを支える人のワークショップ	2	18
合計	10	51

(表 1-3-3) 薬物依存症グループワーク 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
再発予防を目的とした集団活動（回復プログラム）	16	47
回復を目指す仲間同士の交流（グループワーク）	8	22
合計	24	69

## 2) 教育研修、職員派遣

関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-3-4)

(表 1-3-4) 薬物依存症に係る主な職員派遣実績

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
8/15	薬物依存症に関する研修	子ども相談所	Dr	8
合計		1回 8人		

## 3) その他(技術支援、会議参加等)

関係機関とのネットワークを構築し、薬物依存症支援を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。(表 1-3-5)

(表 1-3-5) 薬物依存症に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
薬物依存症支援	大阪府薬物依存症関連機関連携会議	会議への出席	2
薬物依存症支援	大阪府依存症関連機関連携会議 薬物依存症地域支援体制推進部会	部会への出席	2
薬物依存症支援	大阪府麻薬覚せい剤等対策本部 乱用依存症者対策部会	部会への出席	1
薬物依存症支援	Voice Bridges Project に関する意見調整	会議への出席	1
合計		6回	

## 1-4 ギャンブル等依存症

### 1) 相談支援及び回復プログラム等

くり返される賭博により生活に支障が生じ、ギャンブル等依存の問題で困っている本人及び家族等に対して相談支援を行った。個別の状況に応じた支援及び精神科医による相談(月1回程度)を実施した。(表 1-4-1)

また、ギャンブル等依存症相談を利用している家族を対象に、ギャンブル等依存症の正しい理解とその対応について学ぶことを目的とした家族教室を実施した。(表 1-4-2)

同じ悩みを抱える家族同士の交流の場としての家族交流会を実施した。(表 1-4-3)

さらに、ギャンブル等依存症相談の利用者を対象に、再発予防を目的とした回復プログラムを実施した。(表 1-4-4)

(表 1-4-1) ギャンブル等依存症相談 主な相談対象 (ギャンブル等の種別) (延べ件数)

パチンコ	スロット	競馬	FX	その他	合計
214	53	8	16	97	388

(表 1-4-2) ギャンブル等依存症家族教室 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
家族教室 (医療、借金等の対応について)	4	32
合計	4	32

(表 1-4-3) ギャンブル等依存症家族交流会 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
家族交流会	2	11
合計	2	11

(表 1-4-4) ギャンブル等依存症回復プログラム

内容	実施回数	利用者延数
再発予防を目的とした集団活動 (回復プログラム)	9	27
合計	9	27

## 2) 教育研修、職員派遣

依存症支援関係機関の職員を対象に、ギャンブル等依存症支援の技術を向上させることを目的として研修を実施した。(表 1-4-5)

また、関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-4-6)

(表 1-4-5) 依存症支援者研修 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
11/30	現任者研修 ギャンブル等依存症の支援について	兵庫教育大学臨床心理学コース 教授 野田哲朗 伊藤司法書士事務所 司法書士 伊藤弘嗣	30
合計		1回 30人	

(表 1-4-6) ギャンブル等依存症に係る主な職員派遣実績

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
10/2	ギャンブル等依存症に関する公開講座	生活困窮者の支援の在り方研究会	PSW	30
合計		1回 30人		

### 3) その他（技術支援、会議参加等）

関係機関とのネットワークを構築し、ギャンブル等依存症支援を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。

(表 1-4-7)

(表 1-4-7) ギャンブル等依存症に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
ギャンブル等依存症支援	大阪府依存症関連機関連携会議 ギャンブル等依存症地域支援体制推進部会	部会への出席	2
合計		2回	

## 1-5 自死遺族

### 1) 相談支援等

大切な人を自殺で亡くした遺族等を対象に、個別の状況に応じた支援及び臨床心理士による心理カウンセリング（月2回程度）を実施した。

自死遺族相談実績（再掲） 実数 21 人（延べ 93 件）

### 2) その他（技術支援、会議参加等）

関係機関とのネットワークを構築し、自死遺族支援を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。(表 1-5)

(表 1-5) 自死に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
自殺対策	自殺対策に係る各種会議等（精神保健課）	連絡懇話会への出席	2
		庁内連絡会への出席	2
自殺対策	こころの健康づくり講演会（精神保健課）	講演会の出席	1
自殺対策	自殺予防集中電話相談事業報告会	報告会への出席	1
合計		6回	



## 1-6 性暴力被害

### 1) 相談支援等

性暴力被害に遭われた女性を対象に、個別の状況に応じた支援及び臨床心理士による心理カウンセリング（月1回程度）を実施した。

性暴力被害心理カウンセリング実績（再掲） 実数 21 人（延べ 92 件）

### 2) その他（技術支援、会議参加等）

性暴力被害者の方がさまざまな相談機関へつながりやすくなるよう、関連する相談機関を一覧にした周知パンフレット等を作成するため、ワーキングに参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表 1-6）

（表 1-6） 性暴力被害に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
性暴力被害	「堺セーフティ・プログラム」 フォローアップ・レビュー 第三者評価会議	会議への出席	1
合計		1 回	

## 1-7 こころの電話相談

こころの病に対する偏見は依然として強く、適切な精神科医療機関及び相談機関に関する情報は充分ではない状況に対して、電話の利便性の高さや匿名性を生かし、よりスムーズな医療・相談機関等の情報提供を行うとともに、精神障害者の生活相談に即応することを目的として、電話相談を実施した。（表 1-7-1、表 1-7-2）

なお、平成 24 年 9 月より全国こころの健康統一ダイヤル（0570-064-556）に常時加入した。

専用回線（1 回線）により、有資格者の電話相談員が土・日・祝日・年末年始を除く 9:00～12:30、13:30～17:00 に対応した。9 月、3 月（自殺対策強化月間）については、12:30～13:30 も対応し、また、6 月 11 日の東海道新幹線車内で発生した殺傷事件に関わるこころのケア電話相談や、平成 30 年 6 月 18 日に発生した大阪北部地震発生への対応として、6 月 23 日（土）、6 月 24 日（日）、6 月 30 日（土）、7 月 1 日（日）、7 月 7 日（土）、7 月 8 日（日）の 9:00～17:00 にこころのケア電話相談を行った。

また、電話相談における困難事例への対応の検討及び相談技術の向上、社会資源の情報の更新等を目的に、電話相談員のフォローアップ研修及び交流会を実施した。

相談実施日 250 日

相談件数 2,626 件

(表 1-7-1) 相談内容別件数

老人 精神保健	社会 復帰	アルコール 依存	薬物依存	ギャンブル 依存	思春期	こころの 健康づくり	うつ	その他	合計
348	1,588	16	7	6	37	77	36	511	2,626件

(表 1-7-2) 対応時間別件数

～15分	15～30分	30～60分	60～120分	120分以上	その他	合計
959	800	606	91	1	169	2,626件

## 2 教育研修事業

### 2-1 新任者研修

堺市内の精神保健福祉関係機関における実務経験が概ね1年未満の職員を対象に、精神障害に関する基礎的な知識と基本的な技術の習得を目的として研修を行った。なお、その1コマである「精神疾患の基礎知識」はオープン研修として、同研修受講者以外も受講できるようにした。(表 2-1-1)

また、同研修受講者を対象に、フォローアップ研修を行った。(表 2-1-2)

(表 2-1-1) 新任者研修 実施実績

実施日	5/14、5/15、5/16、5/21 (1回、4日間) ※オープン研修：5/15
内容 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堺市の精神保健福祉の流れ (PSW)</li> <li>・病気の体験、職員の皆さんに望みたいこと (精神障害のある当事者)</li> <li>・家族会活動と家族の思い (家族会)</li> <li>・地域の支援者として思うこと (NPO 法人職員)</li> <li>・精神疾患の基礎知識 (Dr) ※兼オープン研修</li> <li>・精神保健福祉概論、堺市の障害者相談支援体制 (PSW)</li> <li>・精神保健福祉の領域で用いる相談技法 (CP)</li> <li>・見学実習、報告会 【実習先】サニーカフェ、四季彩、しののめハウス 金岡中央病院アルコールデイケア、当センター</li> <li>・援助職のストレスケア (CP)</li> </ul>
参加人数	<b>【新任者研修】</b> 21人 (延べ84人) <b>【オープン研修】</b> 7人

(表 2-1-2) 新任者フォローアップ研修 実施実績

実施日	2/28 (1回)
内容 (講師)	<b>【1部】</b> 事例検討 (PSW、PHN) <b>【2部】</b> 情報交換及び交流会
参加人数	10人

## 2-2 現任者研修

精神保健福祉関係機関の職員を対象に、精神障害者支援の技術を向上させることを目的として、研修を実施した。(表 2-2)

(表 2-2) 現任者研修 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
7/31	精神科入院制度の基本	当センター PSW	57
10/29	パーソナリティ障害について	当センター Dr	49
12/3	アルコール等依存症支援者研修 アルコール依存症者への生活支援 について	特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご 所長 佐古 恵利子	25
1/21 ※	精神障害のある方の生きるをサポートする、とは	公益財団法人浅香山病院 医療福祉相談室 柏木 一恵 社会福祉法人野のちから 理事長 武南 千賀子	41
合計		4回	207人

※NPO 法人堺市相談支援ネットと共催

## 2-3 相談員研修

保健センターの精神保健福祉相談員（概ね相談実務経験年数 11 年未満）を対象に、ケースワーク技術の向上、相談員間の情報共有と連携を図るため、事例検討研修を実施した。(表 2-3-1)

また、同精神保健福祉相談員（概ね相談実務経験年数 11 年以上）を対象に、中堅研修を実施した。(表 2-3-2)

加えて、新規採用及びそれに準ずる精神保健福祉相談員（常勤）を対象に、必要となる基本的な知識や観点について学ぶ機会を提供することを目的として、新規採用精神保健福祉相談員集中研修を実施した。(表 2-3-3)

(表 2-3-1) 相談員研修（概ね相談実務経験年数 11 年以下） 実施実績

実施日	5/18、6/15、8/17、9/21、11/16、12/21、2/15（7回）
内容	事例検討
参加者延数	49人

(表 2-3-2) 相談員研修 (概ね相談実務経験年数 11 年以上) 実施実績

実施日	① 7/20、②10/19、③1/18 (3 回)
内容	① 事例検討 7 人 ② 事例検討 9 人 ③ 事例検討 6 人
参加者延数	22 人

(表 2-3-3) 相談員研修 (新規採用の精神保健福祉相談員) 実施実績

実施日	① 6/15、②8/17、③9/21、④11/22、⑤12/21、⑥2/15 (6 回)
内容	① 行政機関に勤める精神保健福祉士として重視すべきポイント ② 精神保健福祉事業における法定業務 ③ 同職種の先輩から聞く、「市民に信頼される質の高い相談業務」 ④ 地域保健活動における精神症状の解釈と判断 ⑤ 行政における精神保健福祉業務各論 ⑥ 受講者によるプレゼンテーション及び研修全体の振り返り
参加者延数	6 人

## 2-4 職員派遣

庁内関係各課、精神保健福祉関係機関や精神保健福祉に関心のある団体等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 2-4-1、表 2-4-2)

その他、専門学会の講座司会等に職員を派遣した。

(表 2-4-1) 主な職員派遣実績 (庁内)

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
5/1	公衆衛生業務新任研修	健康部新転任者	PSW	54
3/15	障害支援区分認定調査員現任研修	認定調査員	Dr	20
合計		2 回 74 人		

(表 2-4-2) 主な職員派遣実績 (庁外)

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
5/31	第3回専門課程研修	矯正研究所大阪支所	PSW	8
6/22	施設見学及び講義	桃山学院大学	PSW	2
7/10	施設見学及び講義	桃山学院大学	PSW	3
7/26	精神障害について	市民後見人養成講座	PSW	20
8/7	うつ病について	市民	PSW	12
8/16	センター事業説明	社会福祉士実習生	PSW	13
11/2	かかりつけ医うつ病対応力向上研修	堺市医師会員	Dr	z 100
12/10	ストレスについて	市民後見人バンク登録者	PSW	35
1/13	精神障害について	堺市障がい者スポーツ指導者講習会	PSW	32
1/25	依存症について	大阪精神保健福祉士協会初任者勉強会	Dr	30
2/26	てんかんについて	障害福祉事業所合同研修会	Dr	34
合計		11回 289人		

※専門相談に係るものについては前掲（ひきこもり4回258人、薬物依存症1回8人、ギャンブル等依存症1回30人）。

## 2-5 学生実習

医科大学生、精神保健福祉士実習生、公認心理士実習について、受け入れの調整を行った。  
(表 2-5)

その他、社会福祉士実習生について、他部局で実施されるプログラムへの協力を行った。

(表 2-5) 学生実習受入実績

学校名等	実習場所	受入人数
大阪人間科学大学大学院	当センター等	1
大阪保健福祉専門学校	当センター及び南保健センター等	1
桃山学院大学	当センター及び東保健センター等	1
奈良県立医科大学	当センター等	6
合計		9人

## 2-6 その他研修等

前記以外の研修として、当センター職員が受講した研修の伝達等を行った。(表 2-6)  
その他、関係機関や大学からの視察や見学等の受け入れ等を行った。

(表 2-6) その他研修 主な実施実績

実施日	内容	講師	参加者延数
1/10	伝達研修	当センター CP (2人)、PHN (2人)	27
合計		1回	27人

### 3 普及啓発事業

#### 3-1 アルコール関連問題講演会

アルコール健康障害に関する正しい知識の普及・啓発及び市民の健康を図るため、講演会を実施した。(表 3-1)

(表 3-1) アルコール関連問題講演会実績

名称	堺市アルコール関連問題講演会
開催日	11/15
場所	東文化会館 3階 フラットホール
主催	堺市
内容	・堺市のアルコール健康障害の課題と取り組み ・講演『女性のライフスタイルとアルコール～“いい子”“いい妻” “いい母親”を求められていませんか～』 医療法人聖和錦秀会 阪和いずみ病院 医師 近江 依紗
参加者	47人

#### 3-2 ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）

堺市内の医療機関又は社会復帰施設等を利用する精神障害者やその家族、関係機関の職員及びボランティアを含めた市民等が相互に交流することにより、精神障害者への理解を深め、精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域のネットワークづくりの構築を推進することを目的として開催した。(表 3-2)

(表 3-2) ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）開催実績

名称	第30回堺市精神障害者地域交流運動会
開催日	10/18
場所	J-GREEN 堺（堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター） 屋根付フットサルコート
主催	堺市精神障害者地域交流運動会実行委員会
協力 (順不同)	(株)伊藤園堺支店、大阪いずみ市民生活協同組合、(株)神戸屋堺工場、堺ヤクルト販売(株)、堺市健康づくり推進市民会議、JXTG エネルギー労働組合堺支部
参加者	460人（25団体、競技参加：297人、スタッフ等：163人、来賓：2人）



### 3-3 精神保健福祉セミナー

広く市民に精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発を行い、こころの健康についての関心を促すことによって、ノーマライゼーションの理念の実現を図り、こころ豊かなまちづくりを市民の側から進めるきっかけとすることを目的として企画開催した。企画・運営は、市内関係各機関で構成された実行委員会により実施した。(表 3-3)

(表 3-3) 精神保健福祉セミナー開催実績

名称	第 25 回堺市精神保健福祉セミナー 「スポーツを通じてのリハビリ ～精神障がい者のこころとからだの回復!～」
開催日	12/7、12/8
場所	堺市立健康福祉プラザ 3階 大研修室 (12/7) 堺市立健康福祉プラザ 1階 エントランス (12/8)
主催	堺市精神保健福祉セミナー実行委員会
内容	・講演『精神障がい者スポーツとリハビリ ～フットサル活動を通して考える～』 NPO 法人日本ソーシャルフットボール協会 前理事長 大阪精神医学研究所 新阿武山病院 院長 岡村武彦 ・当事者スポーツチームメンバー等によるパネルディスカッション ・作品展示
参加者	57 人 (12/7)、150 人 (12/8)

### 3-4 こころの健康講座

精神障害者の家族を対象に精神障害についての研修を行い、家族の不安を軽減するとともに、交流の機会を設け、孤立を防止することを目的として、こころの健康講座を開催した。(表 3-4)

(表 3-4) こころの健康講座実績

実施日	内容	講師	参加人数
6/23	精神障害と発達障害との関係仮説 ～その障害理解と支援について～	上級教育カウンセラー・ 臨床発達心理士 服部 ただし	112
9/29	こころと心がかよいあう人間関係を求めて ～コミュニケーションの工夫～	新阿武山クリニック 社会学博士 西川 京子	61
2/14	精神障害とコミュニケーション	医療法人 好寿会 医師 以倉 康充	55

合計	3回 228人
----	---------

### 3-5 出前講座

「どこでもセミナー～堺市生涯学習まちづくり出前講座～」として、諸団体からの要請を受けて講師を派遣し、こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発を行った。(表 3-5)

(表 3-5) 出前講座実績

内容	回数	参加者延数
「ひきこもり」の若者への支援について	1	51
こころの健康講座 ～ストレスと上手につきあうコツ～	7	155
簡単うつ病講座 ～身近なうつ病、気づいていますか？～	3	59
アルコール関連問題とメンタルヘルス ～不適切な飲酒がもたらすもの～	3	97
合計	14	362人

### 3-6 啓発冊子の作成

精神的健康の増進、精神疾患に対する正しい知識の普及を目的として冊子を作成し、各区の保健センターへ配架した他、講演会、イベント等で配布した。(表 3-6)

(表 3-6) 啓発冊子発行実績

名称	発行部数
「ギャンブル等の問題でお困りではありませんか？」リーフレット	4,000
「生活習慣病のリスクを高めるアルコール」カード	10,000
「ストレスとつき合うコツ」	500

### 3-7 ホームページ

専門相談案内、研修会、講演会等の開催情報など、当センターのホームページに掲載した。  
URL : <http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/kenkocenter/index.html>

## 4 技術支援事業

### 4-1 保健センターへの技術支援

市内各区の保健センターに対して、技術支援（21回）を行った。

### 4-2 個別支援及び各種事業への技術支援等

関係機関とのネットワークを構築し、精神保健福祉を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表 4-2-1、表 4-2-2、表 4-2-3）

（表 4-2-1） 個別支援に係る技術支援実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等医療観察	大阪保護観察所等	ケア会議への出席等	34
障害者虐待防止	障害施策推進課	障害者虐待防止法対応方針検討会議への出席等	11
合計		45回	

（表 4-2-2） 各種事業協力（会議出席等）に係る技術支援（庁内）

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
障害者支援 （退院促進）	退院促進支援会議 （障害施策推進課）	会議への出席	2
障害者支援 （地域移行）	地域移行運営会議 （障害施策推進課）	会議への出席	11
障害者支援	相談支援事業所等への研修 共有等に関する会議 （障害施策推進課）	会議への出席	2
障害者支援	障害支援区分認定調査員研修 （障害者支援課）	研修への出席	1
障害者支援	堺市地域福祉計画推進懇話会	会議への出席	2
精神保健福祉	精神保健福祉業務連絡調整会議 （精神保健課）	会議への出席	11
精神保健福祉	精神科病院 連絡調整会議	会議への出席	1
精神保健福祉	精神科病院実地指導等 （精神保健課）	実地指導立会い等	5
精神保健福祉	精神保健福祉審議会 （精神保健課）	会議への出席	1
精神保健福祉	保健センター事業等調整会議 （精神保健課）	会議への出席	1

精神保健福祉	堺市保健医療協議会第1回精神医療部会	会議への出席	1
生活困窮者自立支援	生活困窮者自立支援制度 連携会議 (生活援護管理課)	会議への出席	1
健康さかい21	健康さかい21市内連絡会 (健康医療推進課)	連絡会への出席	1
健康増進	健康増進計画懇話会 (健康医療推進課)	懇話会への出席	2
保健師業務	保健師業務調整会議 (健康医療推進課)	会議への出席	5
性暴力被害	男女共同参画交流の広場運営 委託業務事業者選定委員会 (男女共同参画推進課)	会議への出席	1
合計		48回	

※専門相談に係るものについては前掲（ひきこもり7回、自死遺族5回）。

(表 4-2-3) 各種事業協力（会議出席等）に係る技術支援（庁外）

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等医療観察	医療観察制度運営連絡協議会 業務連絡会 (大阪保護観察所)	協議会への出席	1
		連絡会への出席	2
権利擁護支援	日常生活自立支援事業 契約締結審査会 (堺市社会福祉協議会)	審査会への出席	6
権利擁護支援	市民後見人養成講座 (権利擁護サポートセンター)	講座への出席	1
障害者支援	大阪精神科診療所協会 新年伝達講習会 (大阪精神科診療所協会)	講習会への出席	1
障害者支援	堺市障がい者スポーツ指導者 養成講習会 (健康福祉プラザスポーツ センター)	講習会への出席	1
障害者支援 (自立支援協議会)	堺市障害者自立支援協議会	市協議会への出席等 区協議会への出席等	2 19
障害者支援 (就労支援)	就業・生活支援センター 連絡会及び運営委員会 (就業・生活支援センター)	連絡会議への出席	1
		運営委員会への出席	1
障害者支援 (発達障害者)	発達障害者支援専門部会 (発達障害者支援センター)	部会への出席	1
保健医療計画	大阪府堺市保健医療協議会第1 回精神医療部会	専門部会への出席	1
精神保健福祉	第1回アルコール依存症対策	会議への出席	1

(アルコール)	関係者調整会議		
精神保健福祉 (アルコール)	大阪府依存症関連機関 連携会議	アルコール健康障がい 対策部会への出席	2
精神保健福祉	精神科医療機関療養環境 検討協議会	協議会への出席	5
合計		45回	

※専門相談に係るものについては前掲（ひきこもり 4 回、薬物依存症 6 回、ギャンブル等依存症 2 回、自死遺族 1 回）。

## 5 組織育成事業

市民の精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による組織活動等に対して支援を行った。(表5)

(表5) 組織育成事業 主な実績

対象	内容	回数
家族会	会合出席	1
医療機関等（各協会等）	会合出席	3
断酒会	会合出席	3
合計		8回

## 6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

### 6-1 精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会を設置して審査等を行った。（表 6-1-1、表 6-1-2、表 6-1-3）

なお、合議体は 3 合議体で、合計 35 回（A 合議体 12 回、B 合議体 12 回、C 合議体 11 回）開催した。また、審査会（全体会）を、1 回開催した。

その他、全国精神医療審査会連絡協議会等に参加した。

（表 6-1-1） 審査委員内訳

精神保健指定医	弁護士	学識経験者	合計
8	3	4	15 人

（表 6-1-2） 退院・処遇改善請求審査

請求等 区分	入院形態	請求件数	審査件数	審査結果件数	
				入院又は処遇は 適当	入院又は処遇は 不適当
退院請求	医療保護	84	79	36	10
	措置入院	8	8	5	0
	その他	0	0	0	0
合計		92 件	87 件	41 件	10 件
処遇改善 請求	任意入院	0	0	0	0
	医療保護	18	16	4	5
	措置入院	2	2	1	0
	その他	0	0	0	0
合計		20 件	18 件	5 件	5 件

※衛生行政報告例の集計方法に基づく。

※請求電話受電等件数は、624 件。

(表 6-1-3) 入院届・定期病状報告審査

請求等区分		審査件数	審査結果件数		
			現在の入院 形態が適当	他の入院 形態への 移行が適当	入院継続不要
医療保護入院届		2,846	2,846	0	0
定期病状 報告	医療保護入院	794	794	0	0
	措置入院	4	4	0	0
合計		3,644 件	3,644 件	0 件	0 件

※衛生行政報告例の集計方法に基づく。

## 6-2 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

### 1) 自立支援医療(精神通院)支給判定業務

自立支援医療(精神通院)の申請に係る診断書の判定業務を行った。(表 6-2-1)

(表 6-2-1) 自立支援医療（精神通院）判定件数

判定	件数
承認	7,984
不承認	4
合計	7,988 件

### 2) 精神障害者保健福祉手帳判定業務

精神障害者保健福祉手帳の申請に係る診断書の判定業務を行った。(表 6-2-2)

(表 6-2-2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定	件数
承認	3,377
不承認	16
合計	3,393 件



## 7 調査研究事業

### 7-1 紀要

当センター研究紀要（第11号）を作成した。（表7-1）

（表7-1） 紀要（第11号）掲載論文

論題
精神医療審査会における退院等請求の審査日数の現状 —1日も早く審査結果を届けるために—
ひきこもり支援におけるピアサポートの活用と展開 ～堺市ユース・ピアサポーターの実践から～
堺市こころの健康センターにおける自死遺族相談ケースの背景の分析 —平成26年～平成29年度の受理ケースについて—

### 7-2 その他発表等

前記以外の調査研究として、活動報告の発表等を行った。（表7-2-1、表7-2-2）

（表7-2-1） 学会等発表 実績

実施日	学会発表	内容	職員
9/22	第42回日本自殺予防学会 総会	堺市こころの健康センターにおける自死 遺族相談事例の背景の分析 —平成26年～平成29年度 の受理事例について—	PHN
合計		1回	

（表7-2-2） 雑誌投稿等 実績

雑誌投稿等	内容	職員
「公衆衛生情報」Vol.48/No.7 (2018年10月号)	ひきこもり支援をつなぐ 「橋渡しグループワーク」	CP
合計	1回	

堺市こころの健康センター所報 第13号（平成30年度実績）

編集・発行 堺市健康福祉局健康部こころの健康センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号

堺市立健康福祉プラザ3階

TEL 072-245-9192 FAX 072-241-0005

E-mail [kokense@city.sakai.lg.jp](mailto:kokense@city.sakai.lg.jp)